

## 第2回 豊川市高齢者福祉計画策定委員会議事録

日時：令和5年8月24日（木）

午後1時30分から

場所：中央図書館2階 集会室

### 1 あいさつ

委員長：あいさつ

●事務局：配布した会議資料の確認

### 2 議題

(1) 豊川市高齢者福祉計画の基本理念・基本目標（案）等について

●事務局：資料1の説明

※特に質問等はなし

(2) ケアマネジャー、関係団体へのアンケート等調査の結果について

●事務局：資料2、3の説明

※特に質問等はなし

(3) 課題の整理について

●事務局：資料1、4の説明

Q. 委員：高齢者アンケート・介護支援専門員アンケートの調査結果がデータの提示だけに留まっており、分析や課題の提示がされていない。「こういう結果だからこれが課題だ」「こんな施策が必要だ」というような課題や解決の方向性の提示は追加されるのでしょうか。

A. 事務局：次回お配りする素案の段階で記載していきたいと考えております。

Q. 委員：高齢者等実態把握調査の広域連合の調査結果を見ると、それぞれの地区の特色が出ている項目がある。なぜ特色が分かれるのか、施策や地域資源の違いによるものなのか。他市町村との比較をするなど、男女別年齢別から踏み込んだ分析をしてはどうでしょうか。そのような分析をすることで、何が強みで何が弱いのかなどがわか

ると思います。

Q. 委員：無回答の割合が多くなっている設問がある。無回答が多くなっているところは何か要因があるのか、そこをうまく啓発して「自立支援活動」「介護予防活動」それぞれが連動し介護保険以外のサービスが生まれるような仕組み作りが強化できるかというと思います。

A. 事務局：東三河広域連合に確認をしたり、我々のほうで分析をしたりしたいと思います。

Q. 委員：介護支援専門員の調査で回答者の年齢を見ると、若いケアマネジャーが育っておらずベテランの方が抜けているのを実感する。前回の結果と比較すると不足しているサービスの割合が増えており、担い手が足りていないのだと感じる。この辺りの課題に対する施策が必要ではないでしょうか。

A. 事務局：ケアマネジャー不足は介護人材の確保の課題と捉えています。広域連合では独自事業として、人材のマッチング事業を行っております。取り組みを試している状況なので、市の計画にも盛り込むか検討したいと思います。

Q. 委員：資料1の14ページの調査対象者が「令和元年」となっていますが、これは正しいデータですか。

A. 事務局：令和4年の間違いです。修正させていただきます。

Q. 委員：資料1と資料4で表の形や単位の表記が異なっている箇所が見受けられるので、事務局でよく確認していただければと思います。

A. 事務局：改めて確認いたします。

Q. 委員：水害など、高齢者の方が自宅で災害の被害に遭った際のことなども計画に盛り込むかというと思います。

A. 事務局：検討させていただきます。

#### (4) 豊川市高齢者福祉計画骨子（案）について

##### ●事務局：資料1の説明

Q. 委員：前期計画では「第7章 介護サービスの充実」と「第8章 計画の推進体制」がありますが、今回の計画ではなしということによろしいですか。

A. 事務局：第7章はなしとさせていただきます。第8章は繰り上がって第7章となるかと思えますので、次回の素案の段階でお示しさせていただきます。

Q. 委員：地域包括ケアシステムについて、第5章2で「地域包括ケアシステムの深化・推進」と一歩進んだ表現になっているのに対し、第5章の見出しでは「地域包括ケアシステムの構築」と戻ったような印象を受ける。推進や深化などという言葉にはできませんか。

A. 事務局：次回までに検討させていただきます。

Q. 委員：第7章は資料編でということですが、広域連合の介護保険事業計画は範囲が広いものになるかと思います。もう少し地域の独自性、個別性が表現できるといいと思いますが、資料編では広域連合の計画をそのまま掲載するというイメージでよろしいですか。

A. 事務局：広域連合ではスケールメリットを活かした運用をしている事業となっています。豊川市では広報に力を入れていますので、全体を動かしていきながら足りないところを示していければと思います。

### 3 その他

●事務局：次回開催日案内、意見書について

第3回豊川市高齢者福祉計画策定委員会：11月30日（木）13：30～ 豊川市中央図書館  
（予定）